

2025 年度研究発表会の開催と論文募集のお知らせ

2025 年度の研究発表会を下記の要領で開催いたします。論文発表をご希望の方はご応募ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。発表申し込みは学会ウェブサイト上の「[投稿申し込み専用フォーム](#)」より行っていただきます。また、[参加申し込みは、事前申し込み・事前支払い](#)を実施します。詳しくは学会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。なお、今年度も昨年度と同様に、水曜日午後から金曜日の 2.5 日間での開催を予定しています。

期 日：2025 年 10 月 8 日（水）研究発表会
応用地質学の発展に向けたコラボレーションセミナー（仮）とアース・サロン
（ダイバーシティ推進委員会主催）
10 月 9 日（木）研究発表会、特別講演
意見交換会（会場：札幌ビューホテル大通公園を予定）
10 月 10 日（金）研究発表会
10 月 11 日（土）見学会（有珠周辺・ウポポイの 1 コースを予定）
※会期中に若手交流会の開催を予定しています。
イベントの詳細については、学会誌 6 月号および学会ホームページに後日掲載いたします。

会 場：札幌市教育文化会館（〒060-0001 北海道札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）
※今年度の発表は現地のみを予定しています（オンラインは聴講（Zoom）のみを検討中）。
質問には Zoom のチャット機能を想定しています。

協賛（予定）：（一社）全国地質調査業協会連合会
（一社）北海道地質調査業協会

共催（予定）：北海道応用地質研究会

応募締め切り：2025 年 5 月 19 日（月）

申し込み方法：・原則として学会ウェブサイト研究発表会のページの「[投稿申し込み専用フォーム](#)」よりお申し込みください。
・申し込み方法の詳細は、「投稿申し込み専用フォーム」に掲載しますので、記入方法や注意事項をよく読んで申し込みを行ってください。
・論文発表は 1 人 1 編*とし、講演者は学会員であることとします。なお、申し込み時に非会員の場合は、下記の講演論文原稿の提出期限（8 月 22 日）までに会員登録手続きを済ませてください。

特別セッション：2025 年度の研究発表会では、以下の 5 件の特別セッションを設定いたします。

特別セッション 1 「地質関連リスクとダム - 調査、評価と緩和対策-」 ※AEG 共同セッション
“Geo-related Risks for Dams - Investigation, Evaluation, and Remediation Measures.”
提案者：片山政弘（熊谷組：土木地質研究部会）・綿谷博之（建設技術研究所：土木地質研究部会）・佐々木靖人（ダム技術センター：土木地質研究部会）
趣 旨：ダム地質に関わる日米共通の技術的課題の一つとして地質リスクを取り上げ、その対応方法や事例の紹介を通じて、参加する技術者の視野や知見の向上を図り、両国および国際社会におけるダムの安全基準と実務の改善に貢献する。
発表方法：口頭のみ ※発表の募集無し

特別セッション 2 「ボーリングコアの画像診断と DX 化」
提案者：原口 強（東北大学・STORY）・木下博久（復建調査設計）
趣 旨：ボーリングコアは地質調査の基本です。コア判定は専門家が目視観察して柱状図を作成することが基本ですが、個人差があり属人的です。写真はデジタル化されていますが、可視画像のみで低解像度です。倉庫での保管には管理コストが必要な上に、コアの経年劣化は避けられません。これらの課題解決の取組、特に「ボーリングコアの画像診断と DX 化」に関連した議論と情報共有

を行うことを目的とした特別セッションです。

発表方法：口頭・ポスター

特別セッション3「(仮) 理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから Part3」

提案者：和田里絵（基礎地盤コンサルタンツ）・北田奈緒子（GRI 財団）

趣旨：3回目のセッションとなる今回は、応用地質学と地盤工学の協働による成功事例や協働しなかったことによる失敗事例などを取り上げ、今後、我々が具体的にどのような取り組みを進めて行くのが良いか、参加者全員でワークショップ形式にて議論いたします。

発表方法：口頭のみ ※発表の募集無し

特別セッション4「自然災害伝承碑からみる地域災害とアウトリーチ活動」

提案者：千田敬二（八州：災害地質研究部会）・稲垣秀輝（環境地質：災害地質研究部会）・下村博之（パスコ：災害地質研究部会）

趣旨：災害地質研究部会では、国土地理院と連携して自然災害伝承碑に関する研究を続けており、応用地質学の見解を加えた調査票の整理も進展している。今後学会 HP 等を通じた一般公開を検討しており、地域災害の特徴等を表す伝承碑および調査票のアウトリーチ活動のあり方を会員の方々と討議したい。

発表方法：口頭のみ ※発表の募集無し

特別セッション5「複合災害を考える Part2」

提案者：北田奈緒子（GRI 財団）

趣旨：6月のシンポジウムで実施した「複合災害を考える」の続きとして、会員からの事例報告を募集し、複合災害の種類、どのような対策ができるのか？応用地質学会でできることは？などの話題でディスカッションを行う。

発表方法：口頭のみ

発表希望分野：常設セッションでの発表を希望される方は、第1希望、第2希望のセッションを下記の常設セッションからお選びください。プログラム作成時の参考にいたします。

〔常設セッション〕

「災害地質」、「土木地質」、「測量・計測」、「地下水」、「環境地質」、「地形・地質一般」、「地層処分」、「社会貢献」

特別セッションで発表予定の方は、該当する特別セッションを第1希望と第2希望にお選びください。なお、**特別セッション1・3・4の講演者は、提案者により人選いたしますので、発表の募集はいたしません。また、ポスター発表も予定しているのは特別セッション2のみになります。**

受付の確認：申し込み受付は**投稿申し込み専用フォーム**から申し込み内容が正しく送信された時点で受領とします。正しく送信が行われた場合、**連絡担当者宛にフォームへの記入が完了したことを知らせるメールが送信されます**ので、メールの着信を必ずご確認ください。メールは Google フォーム（forms-receipts-noreply@google.com）より配信されます。

発表形式：申し込み時に、「口頭発表」もしくは「ポスター発表」の希望を選択していただきます。なお、十分な討論時間を確保するため、会場スペースの都合等の理由により、発表形式の変更をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

論文の採否：論文発表の採否、発表形式の決定は、当学会事業企画委員会にご一任いただきます。**その結果を6月下旬までにお知らせ**し、原稿執筆の依頼をいたします。内容については、新規性・公平性のあるものとし、特定の技術等の宣伝と判断される場合などは、不採用とすることもありますのでご注意ください。

発表方法：〔口頭発表〕

口頭発表はパワーポイントと Zoom（予定）を用いた発表方式とします。会場では Zoom で共有された発表スライドを、液晶プロジェクタで投影します。**発表者は原則会場での発表をお願いいたします。**口頭発

表の持ち時間は、**発表時間 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分**を予定しております。なお、発表数が多い場合には、発表時間等の短縮を行う場合がありますので、予めご了解ください。

[ポスター発表]

ポスター発表には、会場にポスター用のパネル（各発表者 1 枚、A0 サイズを予定）を用意いたします。活発な討論のために発表時間帯（コアタイム）を設定いたします。**発表者は会場での発表をお願いいたします。**

表彰制度：口頭発表およびポスター発表について、表彰制度を設けます。口頭発表の表彰は、45 歳以下の発表者が対象となります。ポスター発表の表彰については、年齢制限はありません。

参加申し込み：学会ウェブサイト上での事前参加申し込みを、2025 年 9 月に開始予定です。参加申し込みは原則、**事前申し込みと参加登録料の事前支払い**とします。なお、研究発表会に参加される方は全員、参加登録料が必要になります。講演者の事前支払いが確認できない場合には、発表取り消しとして取り扱われる場合があります。参加申し込みの際には、「現地参加」もしくは「オンライン参加（聴講のみ）」のご予定を確認させていただきます。なお「**オンライン参加（聴講のみ）**」の場合は、**ポスターセッションには参加できません。**あらかじめご了承ください。

参加申し込みをされた方には、**講演論文集（電子ファイル）を事前に配布**いたします。配布方法は研究発表会参加者用のウェブサイトから、ダウンロードしていただく方を予定しています。配布時期は 9 月末を予定しています。

参加登録料（予定）：参加登録料金には講演論文集（電子ファイル）のダウンロード権が含まれます。

正会員	8,000 円	非会員	10,000 円
学生会員	1,000 円	非会員学生	3,000 円

※賛助会員の企業・団体にお勤めの方は、1 口につき 2 名まで会員価格で参加できます。

発表論文：口頭発表およびポスターセッションともに、当学会所定の原稿執筆要領に従った**講演論文集原稿の PDF ファイルを提出**していただきます。提出方法につきましては、学会ウェブサイト内で追ってお知らせいたします。**原稿は A4 版、和文または英文 2 ページ**とします。和文の場合は英文表題が必要です。詳細は、6 月下旬までに学会ウェブサイト上に公開する、「原稿作成要領」および「原稿フォーマット」を確認してください。

原稿提出期限：2025 年 8 月 22 日（金）

※研究発表会の情報は、Facebook、学会ニュースリストでもお知らせいたします。